



乾杯を
もっとおいしく。

NEWS RELEASE

サッポロビール株式会社

ビール類の副産物モルトフィードをアップサイクルした 紙コップ「もるたん (maltum)」を開発 静岡県内の3企業が協働し、清水エスパルスの試合会場で試用



サッポロビール（株）は、ビール類の製造過程で生成する副産物のモルトフィード（注1）を原料の一部に取り入れアップサイクルした紙コップ「もるたん (maltum)」を、静岡県内のプラス産業（株）の協力のもと開発しました。11月3日にIAIスタジアム日本平で行われる清水エスパルスの試合会場で、ノンアルコールビールテイスト飲料である「サッポロプレミアムアルコールフリー」の提供に試用します。（注2）

「もるたん」はパルプモールド製の紙コップで、パルプモールドの成形の際にビール類の製造過程で発生するモルトフィード（注1）を混ぜ込んでいることから、モルト (malt：麦芽) とタンブラー (tumbler) を掛け合わせたユニークな名が付けられました。パルプモールドとは木質繊維（パルプ）を主原料として、水に溶かした木質繊維（パルプ）を乾燥させてできる紙製の成形品です。プラスチック包材の代替品として使用するなど、環境に配慮した包材として注目を集めています。「もるたん」に使用されるモルトフィードは、当社の静岡工場ではビール類を製造する際に排出されたもので、それをプラス産業（株）に供給して製造加工し、アップサイクルされます。

今回、同じく静岡を拠点に活動するサッカーチームの清水エスパルスの協力により、同チームの試合会場で「もるたん」を試用することとなりました。試用後の「もるたん」は従来の紙コップとともに分別回収され、トイレットペーパーにリサイクルされます。原料調達から製造、使用、リサイクルまでを地域一体となって協働した、環境に配慮した取り組みとなっています。「もるたん」は、今回の試用によるお客様とのコミュニケーションを通じ、今後の実用化を検討していきます。

サッポログループは、サステナビリティ方針「大地と、ともに、原点から、笑顔づくりを。」のもとに、サステナビリティ重点課題のひとつとして「循環型社会の実現」に取り組んでいます。当社ではサッポログループ容器包装ビジョン（注3）を掲げ、化石燃料由来のワンウェイプラスチック製の広告品類を2030年までに原則廃止（注4）することとし、環境に配慮した取り組みを推奨しています。

サッポログループは、今後も皆様から信頼される企業であり続けるため、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。

（注1） ビールの仕込み過程で発生する麦芽の殻皮。

（注2） 11月3日以降の清水エスパルスの試合会場で試用を行う可能性があります。

(注3) <https://www.sapporoholdings.jp/news/dit/?id=8479>

(注4) https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000013843/

記

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 1. 容器名 | もるたん (maltum) |
| 2. 容量 | 14 オンス (約 414ml) |
| 3. 試用日 | 2024 年 11 月 3 日 |
| 4. 試用会場 | IAI スタジアム日本平 (清水エスパルスの試合にて) |
| 5. 提供対象商品 | サッポロ プレミアムアルコールフリー |

以上